

かけはし

赤の2組
～秋のダイナミックワールド号～

「秋のダイナミックワールド」において、赤の2組で展開されている遊び、その遊びが始まったきっかけなど、ご紹介させていただきます。クラスごとの「かけはし」は、本園 Web サイト「園からのお便り」のページにも掲載する予定です。よろしければ、ぜひ、各クラスの遊びの様子もご覧ください。

園庭や大学キャンパス、金川の森へ出掛け、紅葉した葉っぱや木の実を見つけるたびに、「秋見つけた！」と言いながら、色とりどりの“秋”を見つけてきた子どもたち。集めた自然物（木の実や落ち葉）を使って遊び始めました。赤の2組を「ドングリの森にしたい！」という声があがってきて、“秋”の遊びが一層盛り上がっています。

★ ドングリの森「ドングリコロコロ」★

遠足で体験したことから始まった遊び。



「ドングリ、コロコロ～！
「ころがってうれしい！」

親子遠足で、パークガイドさんと「金川の森（ドングリの森）」を散策した子どもたち。翌日の幼稚園でも遠足で体験したドングリアクティビティで、遊び始めました。



「ここに繋がたら
上手に転がるかな～」

「幼稚園にある素材でもつくれそう！」と、身近な素材を持ってきて、ドングリを転がすコースをつくり始めることに。



「トンネル
通ったよ～！」

「トンネルつけたら、おもしろいよ！」「細長いドングリ（マテバシイ）でもよく転がるね」と、日々、改良中です。

★ ドングリの森「魔法の箱」★

遠足で体験したことから始まった遊び。

「ケーキの匂いだ～」



「キャラメルの匂いだね！」

遠足で、カツラの木の葉は、紅葉すると、いい匂いがするすることを教えてもらった子どもたち。



「柿の葉っぱって、柿の匂いじゃないね」「どうしてだろう？」

「葉っぱにも匂いがあったね」「幼稚園のお庭には、匂いがする葉っぱってあるかな」と探し始めました。お友達が持ってきてくれた柿の葉っぱから匂いがすることに気づいた子どもたち。



「匂いのする葉っぱです！かいだみて～」

そこで、匂いがする葉っぱのことを他クラスの友達にも伝えることに。カツラと柿の葉っぱをそれぞれ魔法の箱に詰めて～「なんの葉っぱの匂いか当ててみて！」と問題を出し合っていて楽しんでいます。

★ ドングリの森「パズル」★

ドングリの形や大きさの違うことを発見したことから始まった遊び。



拾ってきたドングリで遊んでいると、ドングリの形や大きさが違うことに気づいた子どもたち。図鑑や絵本を広げ、絵に描く子どもも出てくると…「もっと大きく描いて、みんなでパズルをつくってみたい」という声があがってきました。



「ここ、これで合ってる！」「もうすぐできそう！」



そこで、身近な素材を使ってキューブ型のパズルをつくりました。組み合わせると、ドングリや柿の絵の出来上がり。お友達と協力しながら完成させて楽しんでいます。

★ ドングリの森「クッキー屋さん」★

ドングリを使ってどんな遊びをしたいか問いかけたところ、出てきた声から生まれた遊び



「どう？おいしそうでしょ！」

大学キャンパスの木の実拾いの後、「こんなにたくさんのドングリ、どうやって遊ぶ？」と子どもたちに尋ねると、「ドングリのクッキー屋さんしたい！」という声。そこで、段ボールをいろいろな形に切っておくと、子どもたちがそれらをクッキーに見立ててドングリや木の実でトッピングを始めました。



「いらっしゃいませ～」

たくさんのクッキーができると、「いらっしゃいませ！」「どれにしますか？」とクッキー屋さんの元気な声が響くようになってきました。

★ ドングリの森「楽器づくり」★

自由工作に、秋の自然物が取り入れられたことから始まった遊び。



「運動会のダンス楽しかったね。『魔法のクレヨン（手具）』に代わるものをつくろう！」と身近な素材を使って、楽器づくりをしていた子どもたち。



それらにドングリを入れると…いろいろな音がすることを発見。「先生！みんな！聞いてて！」「おもしろい音がする！」「（ドングリを使った楽器だから）山の音楽家みたい！」と、イメージが広がってきた様子。

カラカラする音がする！

「魔法のクレヨン～♪」「クルクル！」



「ダンスが踊れそう！」と、即興ダンスが始まることも。みんなで合奏やダンスを楽しんでいます。